



～他人事ではない!!～

10月5日(金)の琉球新報の記事を読んで本当に危機感を覚えました。「中高生、深刻なゲーム依存」という見出しで、厚生労働省研究班の2017年度調査によると、全国で推計約93万人もの中高生に、病的なネット依存の疑いがあると言っています。

久里浜医療センターは2011年に国内で初めてネット依存外来を開設しましたが、訪れる患者の7割が未成年者で、その9割がゲームに依存しているそうです。11年末から急速に受信者が増え、現在は初診予約を取ることさえ難しい状況が続いているそうです。

世界保健機構(WHO)は今年6月、オンラインゲームなどのやり過ぎで日常生活ができなくなる「ゲーム障害」を新たな病気に認定し、「国際疾病分類」の最新版に載せたそうです。ということは、これは日本だけの問題ではなく世界中で様々な問題が起こっていることとなります。中国や韓国でもこの問題は深刻で、その療養施設が増えているそうです。また、フランスでは今年度から全ての幼稚園、小中学校がスマートフォンの使用を禁止したというニュースもありました。

さて、浦高はというと規則で校時中の使用を禁止していますが、昼食時間は使用を認めています。しっかりけじめをつけて使用して欲しいという指導の方針です。しかしながら、それを守りきれない生徒が中にはおり、先生方の頭を悩ませています。また、昼食時間の様子を見ると、やはりスマートフォンに夢中になり、友人同士でいるにもかかわらず、全く会話がないう状況も目の当たりにします。このような状況を見ていると、依存症の問題は他人事ではないと切実に感じてしまいます。

さて、保護者のみなさまは生徒の使用状況を把握していますでしょうか?また、生徒のみなさんは自分の使用の仕方についてどのように感じているのでしょうか? 校長

●新人大会雑感●

10月に行われた競技種目へたくさん応援に行くことができました。弓道、男子テニス(見つけきれなかった)、空手道、女子ソフトボール、卓球、男子ハンド、女子ハンド、女子バレー。



応援に行き行って感じたことは、皆が著しく成長をしていることです。3年生が引退し、なんとなく頼りなさを感じておりましたが、とんでもない。技術面もそうですが、これからは自分たちが牽引していくという自覚が、プレー1つひとつに表れていました。意識が変わると行動が変わり、責任という自覚が芽生えているということを実感しました。

最も大切なことは、練習で培った力を発揮することだと思います。持っている力を発揮する。簡単なようでこれが難しい。大事な時、プレッシャーがかかる時、ここぞという時に力を発揮できる人になること。

これからの人生において、誰にでもそういう場面が必ずやってきます。 校長

校長雑感

ボーズマン姉妹校交流から16名の生徒と引率の大城直樹先生、仲吉健一教頭が元気(実際は相当疲れていた)に帰ってきた。12日間の留学は本当に尊い経験になったことだろう。これをきっかけに一步踏み出す勇気や想像以上の発見があったに違いない。グローバル時代を生きていく皆さん、次はあなたの番ですよ。チャレンジを恐れてはならない。チャンスを逃すな!

～～～ 時の言葉 ～～～



本庶 佑 (ノーベル生理学賞受賞者)

“6つのC”

Curiosity(好奇心)を忘れず、Courage(勇気)を持って困難な問題にChallenge(挑戦)し、必ずできるというConfidence(確信)を持ち、全精力をConcentrate(集中)して、諦めずにContinuation(継続)させること。

がんの免疫療法を開発した偉業の裏に地道な努力がある。

自己本位はダメ!

10月に入って自転車と自動車との接触及び衝突事故が4件も報告された。まさに由々しき問題だ。

いずれも登校時に起こった事故で、打撲や擦り傷程度であったが不幸中の幸いとはこのことである。これまで何回も言ってきたことだが、事故を起こそうと思っている人なんていない。しかし、事故は起こってしまうのだ。「自分は大丈夫」という発想は厳に慎むべきであり、「自分にも起こりうる」という謙虚さが大切だと思う。

自転車あるいは免許を持っている生徒諸君は肝に銘じて欲しい。もちろん私を含め先生方、これを読んでいるすべての方々も。

校長